



第65期 報告書

平成30年1月1日から平成30年12月31日まで



CONTENTS

P 1 ~ P 2 株主の皆様へ

P 3 販売品目

P 4 連結財務諸表

P 5 会社データ

P 6 株式情報

清和中央ホールディングス

株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



平成31年3月

代表取締役社長
阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第65期（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第65期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、自然災害の影響もあり、景気は一時的に足踏みがみられたものの、その影響は限定的で、個人消費・雇用の持ち直しの動きが続き、企業収益の改善を背景に設備投資も堅調に推移し、国内景気は改善傾向が続きました。一方、国際経済は、米国の安定した雇用情勢と個人消費を背景に着実な景気回復が継続し、ASEANも総じて底堅さを見せましたが、年終盤は、貿易摩擦による影響が懸念される中、欧州ユーロ圏ではやや景気停滞感が示され、中国も一部指標に減速感が窺われました。先行きについては、英国のEU離脱問題の不透明感、米中貿易摩擦の顕在化、さらに、アジア各地の地政学的リスクの影響やトランプ政権の不安定性、政策に関する不確実性の影響等に留意が必要な状況となりました。

鉄鋼業界におきましては、トランプ大統領による輸入制限の発動の影響から、鉄鉱石や石炭などの原材料価格の下落局面もありましたが、国内外の鋼材需要が底堅く推移する中、夏場には少し停滞したものの、鉄鋼製品価格は年間を通して上昇する展開となりました。

このような経営環境下において、当社グループは一層の収益重視姿勢に努め、仕入面においては在庫量の適正化に注力、販売面においては適切な販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は521億79百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益は12億21百万円（前年同期比10.4%減）、経常利益は13億36百万円（前年同期比6.7%減）、法人税等を差引いた親会社株主に帰属する当期純利益は8億32百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

今後の課題について

わが国経済の見通しは、生産性向上と働き方改革の取り組み推進による良好な雇用環境維持と所得環境の改善の持続が期待されます。

足元の国内外経済は総じて堅調に推移すると予想されますが、先行き懸念材料も多く、米中間における貿易摩擦、中国経済の減速懸念、英国のEU離脱、中東地区の地政学的リスクには注意を払う必要があります。

鉄鋼業界におきましては、人手不足による工事遅延リスクの課題は続くとともに、世界経済の下振れリスクは鉄鋼需要に影響するものと思われま

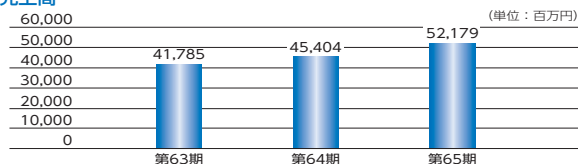
す。一方、鋼材価格については、海外マーケットの動向により下振れるリスクも考えられ、また、為替の動向は国内鋼材価格に大きく影響する懸念もあります。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべくさらに収益重視の姿勢を堅持、経営基盤を強化し存在感ある企業を目指します。

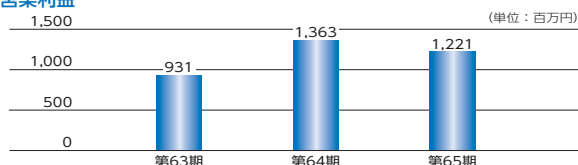
- ① 為替動向に留意し、鉄鋼市況の国際的変動に素早く対応すべく、短期対応でのきめ細かい在庫調整に努めます。
- ② 取引先のニーズを的確に把握して、「必要なときに」「必要なものを」「必要な量だけ」を迅速かつ確実に提供するためのきめ細かく柔軟な営業体制の充実に注力し、既存取引先におけるシェアアップ、新規取引先の拡大を図ります。
- ③ 運賃・荷役費用等の合理化を推進し、一層のコスト削減を図ります。
- ④ 与信管理を徹底し、不良債権の発生を未然に防止するように努めます。
- ⑤ 企業の成長維持のために、次世代を担う人材の育成に力を入れ、戦力強化に努めます。

連結財務ハイライト

●売上高



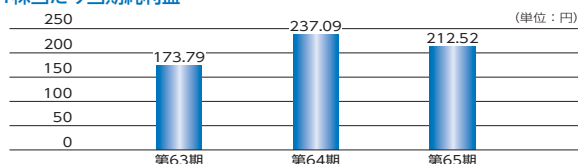
●営業利益



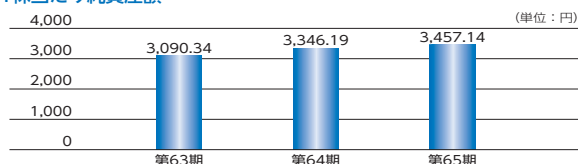
●親会社株主に帰属する当期純利益



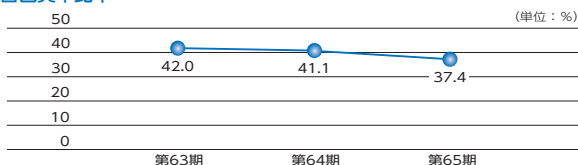
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



●自己資本比率



各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル アルミニウム
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

〔連結貸借対照表〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 平成29年12月31日現在	当期 平成30年12月31日現在
資産の部		
流動資産	22,710	27,337
固定資産	9,166	8,822
有形固定資産	6,972	6,841
無形固定資産	45	21
投資その他の資産	2,148	1,959
資産合計	31,876	36,159
負債の部		
流動負債	16,745	20,687
固定負債	1,807	1,703
負債合計	18,553	22,391
純資産の部		
株主資本	12,295	12,931
資本金	735	735
資本剰余金	601	601
利益剰余金	10,984	11,620
自己株式	△26	△26
その他の包括利益累計額	807	605
その他有価証券評価差額金	807	605
非支配株主持分	221	231
純資産合計	13,323	13,768
負債及び純資産合計	31,876	36,159

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〔連結損益計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで)	当期 (平成30年1月1日から 平成30年12月31日まで)
売上高	45,404	52,179
売上原価	40,235	46,889
売上総利益	5,168	5,290
販売費及び一般管理費	3,804	4,068
営業利益	1,363	1,221
営業外収益	114	152
営業外費用	46	37
経常利益	1,431	1,336
税金等調整前当期純利益	1,431	1,336
法人税、住民税及び事業税	547	480
過年度法人税等	—	55
法人税等調整額	△62	△48
当期純利益	946	848
非支配株主に帰属する当期純利益	18	16
親会社株主に帰属する当期純利益	928	832

〔連結キャッシュ・フロー計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで)	当期 (平成30年1月1日から 平成30年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	219	288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178	377
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△95	551
現金及び現金同等物の期首残高	914	819
現金及び現金同等物の期末残高	819	1,370

【会社概要】

(平成30年12月31日現在)

商号 清和中央ホールディングス株式会社
 本社 大阪市西区九条南三丁目1番20号
 設立 昭和29年3月
 資本金 7億3,580万円
 従業員数 15名 (連結従業員数：205名)

主要な事業内容 当社グループは、当社および子会社6社で構成され、鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務、さらに不動産賃貸事業も行っております。

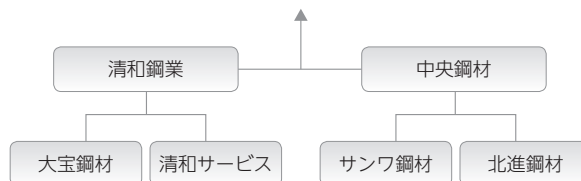
【役員】

(平成31年3月27日現在)

代表取締役社長 阪上正章
 常務取締役 阪上恵昭 管理本部長
 取締役 西本雅昭 管理本部副本部長
 取締役 後藤信三
 取締役 草野征夫
 常勤監査役 上山公
 監査役 岸保典
 監査役 小西弘之

- (注) 1. 取締役草野征夫氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役上山公、岸保典、小西弘之の3氏は、社外監査役であります。
 3. 取締役草野征夫氏および監査役上山公氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。
 4. 監査役小西弘之氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

【清和中央ホールディングス組織図】



■ 連結子会社

清和鋼業株式会社
 〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20 TEL：06-6581-2131
 中央鋼材株式会社
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-10-9 TEL：03-6891-4800
 大宝鋼材株式会社
 〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23 TEL：06-6581-2205
 清和サービス株式会社
 〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29 TEL：072-232-7300

■ 非連結子会社

サンワ鋼材株式会社
 〒306-0204 茨城県古河市下大野2000 TEL：0280-92-2111
 北進鋼材株式会社
 〒340-0813 埼玉県八潮市木曾根1212-3 TEL：048-999-7373

【株式情報】 (平成30年12月31日現在)

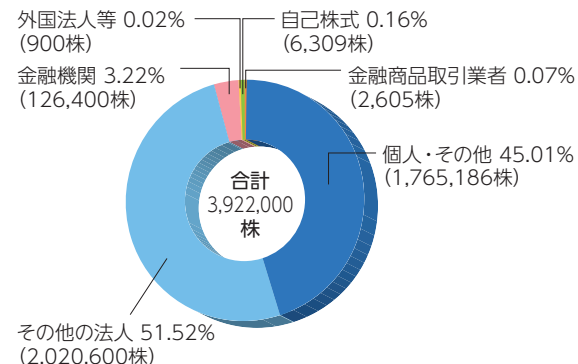
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,922,000株
- 3) 株主数 337名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
株式会社ワイエムピー	558,000株	14.25%
エスケー興産株式会社	495,800	12.66
阪上 正章	440,880	11.26
阪上 恵昭	281,900	7.20
大和製罐株式会社	223,500	5.71
阪上 寿美子	218,600	5.58
山口興産株式会社	185,600	4.74
東洋商事株式会社	149,500	3.82
エムエム建材株式会社	130,000	3.32
加藤 匡子	115,700	2.95

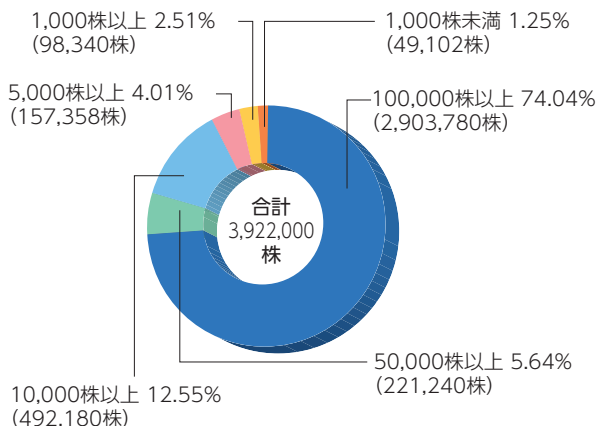
(注) 持株比率は自己株式 (6,309株) を控除して計算しております。

【株式分布状況】 (平成30年12月31日現在)

■所有者別株式分布状況



■所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）

公告の方法

電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

トップページ



IR情報

